

# 株主のみなさまへ

## 第114期 中間報告書

2022年1月1日～2022年6月30日

### CONTENTS

経営理念・持株会社体制への移行概要・ 臨時株主総会決議ご通知	1
ご挨拶	2
特集 統合新会社Resonacの目指す姿	3
新セグメント別の概況	6
会社概要	裏表紙



化学の力で  
社会を変える

## 経営理念

Purpose 存在意義

# 化学の力で社会を変える

Values 私たちが大切にしている価値観

プロフェッショナル  
としての  
成果へのこだわり

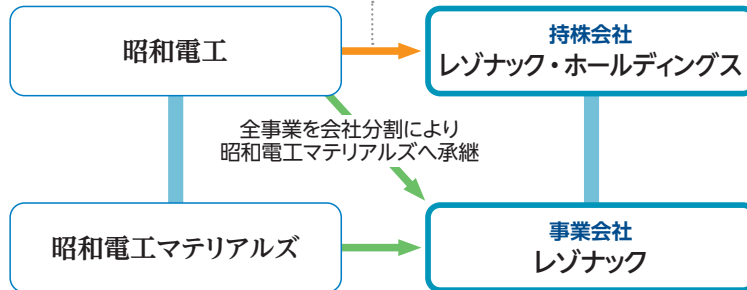
機敏さと柔軟性

枠を超える  
オープンマインド

未来への先見性と  
高い倫理観

## 持株会社体制への移行概要 (2023年1月1日～)

グループ戦略機能、上場法人機能に特化



統合新会社の  
商号決定

# RESONAC

持株会社 株式会社レゾナック・ホールディングス  
Resonac Holdings Corporation

事業会社 株式会社レゾナック  
Resonac Corporation

詳細は、P4をご覧ください

## 臨時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、2022年9月29日開催の臨時株主総会において、  
右記のとおり決議されましたので、ご通知申し上げます。

決議事項

### 第1号議案 吸収分割契約承認の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

### 第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

# 「共創型化学会社」を実現する基盤を整備

## はじめに

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昭和電工株式会社と昭和電工マテリアルズ株式会社は、2023年1月の完全統合および持株会社体制への移行に向けて経営の一本化を進めています。この2022年は、実質的統合を1年前倒しで果たした執行体制のもと、新会社として「共創型化学会社」を実現するための基盤整備に取り組んでいます。

このたび、2022年9月29日開催の臨時株主総会におきまして、持株会社体制への移行および持株会社・事業会社の商号決定等に関する議案をご承認いただきました。誠にありがとうございました。

新商号「株式会社レゾナック・ホールディングス」および「株式会社レゾナック」は、当社グループが「世界トップクラスの機能性化学メーカー」に向けて、新たな一歩を踏み出すために社名を変更したものです。私たちは、2023年1月より「レゾナックグループ」として、メリハリある経営資源配分によるポートフォリオ経営、競争力を生み出すイノベーションおよび人材育成戦略に注力し、企業価値の最大化と持続的成長を果たすための組織体制を構築してまいります。

## 営業状況のご報告

2022年上期は、旺盛な半導体需要を背景に半導体・電子材料セグメントが好調に推移しましたが、モビリティセグメントは、リチウムイオン電池材料の減収と原材料



代表取締役社長  
高橋 秀仁

価格の高騰により損失を計上し、イノベーション材料セグメントおよびケミカルセグメントは、ともに増収・減益となりました。以上により連結業績は、売上高6,560億円（前年同期比5.4%減）、営業利益371億円（同22.0%減）、経常利益468億円（同6.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益317億円（前年同期は134億円の損失）となりました。

期初の計画数値に対しては、売上高・利益とも大きく上回る成果を上げており、下期もこれを維持できる見通しです。そのため通期業績予想は、期初の計画を一部上方修正し、売上高1兆5,000億円（前期比5.7%増）、営業利益840億円（同3.7%減）、経常利益850億円（同2.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益320億円（前期は121億円の損失）を見込んでいます。

株主の皆様には、次ページよりご説明させていただくレゾナックグループの目指す姿をご一読の上、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 統合新会社Resonacの目指す姿

## 「共創型化学会社」とは

私たちの基盤は、川中から川下まで幅広く自在な最先端の機能材料テクノロジー。  
 その上で、社会課題とその原因を鋭く可視化し、解決に向けてイニシアチブを発揮していく。  
 そのためには、化学業界に閉じた個社の事業活動にとどまっては足りないと考えています。

化学企業としてグローバルにおける一流の実力を備え、  
 機敏かつ柔軟な行動と意思決定をもって、産業のキープレイヤーから生活者に至るまで  
 志を共にする仲間とよりよい社会を共創していく。  
 これが、私たちが目指す“共創型化学会社”の姿です。

## 統合新会社の企業像と戦略

私たちは、日本発の総合化学メーカーとしての強みを活かしつつ、グローバル企業に求められる高度な経営手法を取り入れていきます。そして、経営理念と人材育成、変革の推進による「プラットフォーム」を確立し、収益基盤・ポートフォリオ経営・イノベーションの各戦略を通じて、社会課題を解決する「世界トップクラスの機能性化学メーカー」を実現します。

### サステナビリティ重要課題

責任ある事業運営による信頼の醸成

イノベーションと事業を通じた  
競争力向上と社会的価値創造

自律的・創造的な人材の活躍と文化醸成

### グローバル水準の収益基盤の確立

世界で戦える  
会社のエントリーチケットとしての  
規模と収益性

### ポートフォリオ経営の高度化

規律をより意識したポートフォリオの  
継続的な見直し・入替

メリハリある経営資源配分

### イノベーション(技術×ビジネスモデル)

競争力を生み出す戦い方

戦い方を支える先進のデジタル技術

### プラットフォーム

新たな経営理念  
(パーパス、バリュー)

人材育成を主軸とする  
新人事制度

変革をリードする新経営陣  
(CXO体制への移行)

## 2023年1月「第二の創業」へ

昭和電工株式会社と昭和電工マテリアルズ株式会社の経営統合は、「化学の力で社会を変える」をパーパス（存在意義）とする私たちがその実践を加速し、「共創型化学会社」へ進化していくための自己変革です。

こうした意思のもと、当社グループは統合後の持株会社を「株式会社レゾナック・ホールディングス」とし、事業会社を「株式会社レゾナック」とする商号変更を決定しました。2023年1月1日、第二の創業として新たな歴史を開きます。



**持株会社** 株式会社レゾナック・ホールディングス  
Resonac Holdings Corporation

**事業会社** 株式会社レゾナック  
Resonac Corporation

### 社名およびロゴに込めた想い

「レゾナック」は、共鳴する・響き渡るという意味の「レゾネート(Resonate)」と、ケミストリー(Cheistry)の「C」を組み合わせることから生まれた社名です。当社グループの持つ幅広く自在な先端材料テクノロジーと、パートナーの持つさまざまな技術力と発想が強くつながり一つの未来に向かって大きな「共鳴」を起こし、その響きが広がることでさらに新しいパートナーと出会い、社会を変える大きな動きを創り出していきたいという強い想いです。

## 人材プラットフォーム

### 社会的課題を解決する人材の活躍と文化の醸成

私たちは、「プロフェッショナルとしての成果へのこだわり」「機敏さと柔軟性」「枠を超えるオープンマインド」「未来への先見性と高い倫理観」を社員に求め、価値観として共有する企業グループです。

今後は、これらの価値観を維持しつつ、「レゾナックで働いている社員がほしい」と言われるような会社を実現すべく、パーパスドリブンおよびタレントマネジメントの推進により、社会課題の解決につながる人材の活躍を引き出し、健全な企業文化を醸成していきます。

#### パーパスドリブン

**パーパスを体現する自律的、創造的な共創型人材が成長・活躍できる企業文化の醸成**

- パーパスを自身の働く意義へ落とし込み
- バリューの体現と挑戦を称賛するグローバルアワード
- 心理的安全性の確保と個の尊重

#### タレントマネジメント

**経営陣が全社最適視点で将来のリーダーを育成**

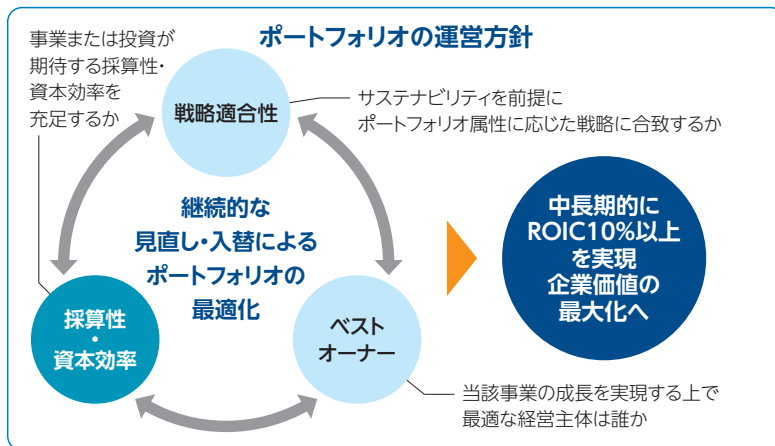
- 人材プールの可視化と潜在能力を引き出すアサインメント
- 抜擢やポストイングも含めた戦略的なローテーション
- 突出した強みを持つ人材を活かす多様なキャリアパス

## 事業ポートフォリオ経営

### 規律を意識したポートフォリオの継続的な見直し

当社グループの事業ポートフォリオは、戦略適合性を重視し、中長期の企業価値向上に資するベストオーナー視点から、事業の入替を含む見直しを行ってきました。

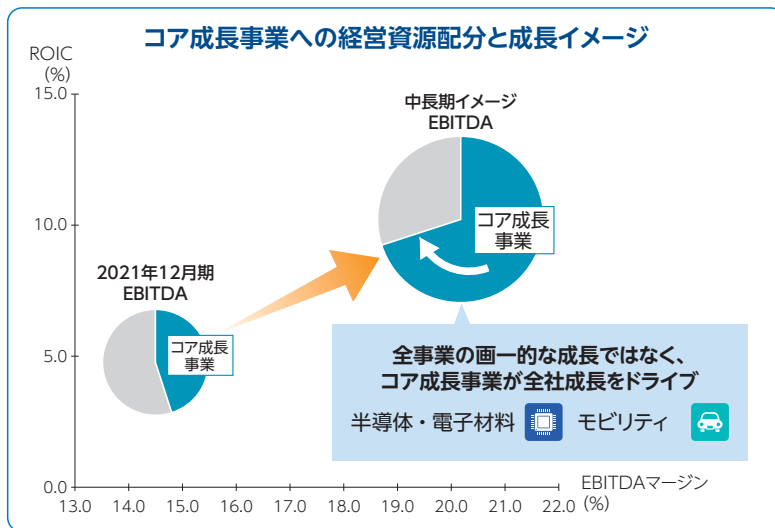
統合後のレゾナックグループは、以上の従来方針に加え、採算性および資本効率の観点から判断基準を設け、これを意識した継続的な見直しを行うことで、ポートフォリオ経営のさらなる高度化を図ります。これにより、中長期的に「ROIC 10%以上」を実現していく考えです。



### 全社を牽引するコア成長事業に経営資源を集中

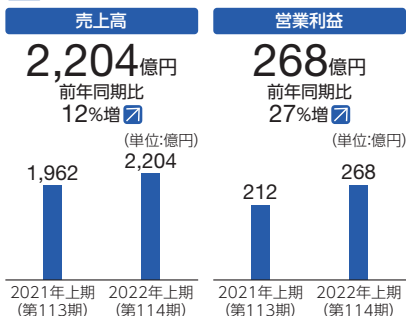
レゾナックグループは、半導体・電子材料セグメントに属する「情報電子化学品事業」「情報通信事業」と、モビリティセグメントに属する「リチウムイオン電池材料事業」「モビリティ部材事業」の四つをコア成長事業と位置付け、ここに経営資源を集中配分します。

全事業の画一的な成長を目指すのではなく、基盤事業と安定収益事業が生み出すキャッシュを重点投下したコア成長事業が牽引する形で全社の成長を実現し、収益性および資本効率を世界で戦えるレベルへ高めていく考えです。

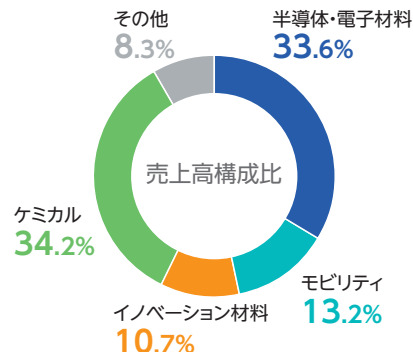
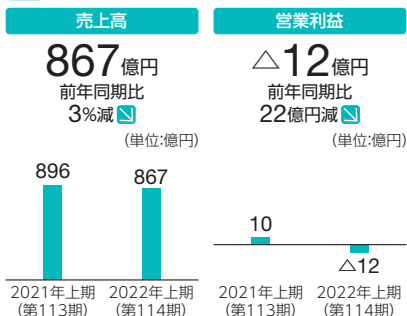


# 新セグメント別の概況

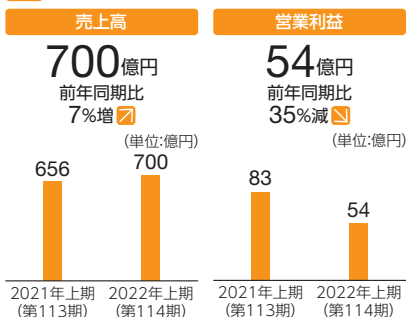
## 半導体・電子材料



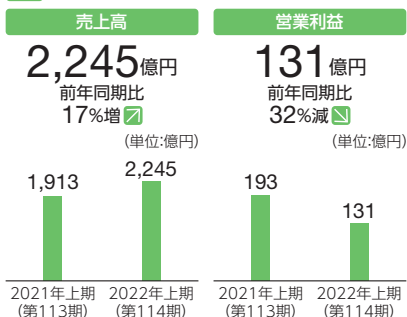
## モビリティ



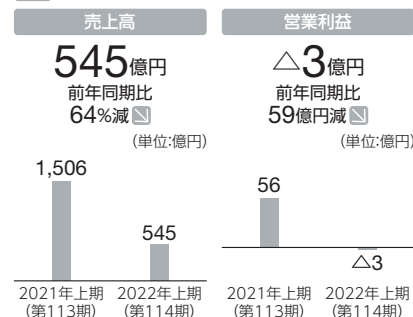
## イノベーション材料



## ケミカル



## その他



## 新旧セグメント比較

事業のポートフォリオ属性: ■ コア成長事業 ■ 基盤事業(技術・素材) ■ 安定収益事業 ■ 次世代事業

旧セグメント	新セグメント	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル	その他
石油化学		—	—	—	オレフィン、有機化学品、合成樹脂	—
化学品		情報電子化学品	—	機能性化学品、コーティング材料	産業ガス、基礎化学品	—
エレクトロニクス		HD、化合物半導体 SiCエピタキシャルウェハー	リチウムイオン電池(LIB)材料	—	—	—
無機		—	—	セラミックス	黒鉛電極	—
アルミニウム		—	—	アルミ機能部材	—	—
昭和電工マテリアルズ		情報通信事業(電子材料、配線板材料)	モビリティ部材(自動車部品、LIB用カーボン負極材)	モビリティ部材の一部(ワニス、機能性樹脂)	—	ライフサイエンス関連製品
その他		—	—	—	—	その他

## 会社概要 (2022年6月30日現在)

社名 昭和電工株式会社  
 英文社名 Showa Denko K.K.  
 本社 〒105-8518 東京都港区芝大門一丁目13番9号  
 設立 1939年6月  
 資本金 1,821億46百万円  
 従業員数(連結) 26,295名  
 ホームページ <https://www.sdk.co.jp/>

### 株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

当社では、2023年3月の定時株主総会から、株主総会資料(株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類)を書面の送付に替え当社ウェブサイト等に掲載させていただきます。したがって、株主の皆様には、ウェブサイトへのアクセス方法を記載した通知書面をお送りいたします。



インターネットの利用が困難な場合等、株主総会資料の書面での受領を希望される株主様は、2022年12月末日までに「書面交付請求」手続きを完了していただく必要がございます。

「書面交付請求」の手続きについて

- ① 口座を開設している証券会社へお問い合わせください。または、
- ② 株主名簿管理人のみずほ信託銀行へお問い合わせください。
  - ★ コールセンター(0120-524-324)
    - ・音声ガイダンス(24時間、365日\*)
    - ・オペレーター(平日9時~17時)
  - ★ ホームページ
    - ・書面交付請求書申請フォーム(24時間、365日\*)
 申請フォームへは右のQRコードからアクセスください。



\*システムメンテナンス等により、一時的に停止する場合がございます。

# 昭和電工株式会社

<https://www.sdk.co.jp/>



適切に管理された森林資源を用紙の材料にしています。



IPA(インプロピルアルコール)等の有害物質を含む「湿し水」を使わない水なし印刷を採用し、VOCの発生を大幅に削減しています。



VOC(揮発性有機化合物)の発生の少ない、ベジタブルインクを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

## 株主メモ

**事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで  
**定時株主総会** 3月  
**株主確定基準日** (1)定時株主総会・期末配当 12月31日  
 (2)中間配当 6月30日  
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。  
**公告方法** 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。  
 公告掲載URL <https://www.sdk.co.jp/>

**単元株式数** 100株  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社  
**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
**(郵便物送付先)** 〒168-8507  
**(電話お問い合わせ先)** 東京都杉並区泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL. 0120-288-324

### 株式に関する住所変更のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様には、住所変更のお届出およびご照会は、口座のある証券会社へお願いいたします。株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)へ預託されていなかった株主様については、株主名簿管理人である上記のみずほ信託銀行株式会社の口座(特別口座といえます。)で管理させていただいております。特別口座についてのご照会および住所変更のお届出は、上記の電話お問い合わせ先へお願いいたします。未払配当金については、株主名簿管理人に加え、株式会社みずほ銀行の全国本支店でもお手続きいただけます。

ご案内

当社は、「単元未満株式の買増制度」を導入しております。1単元(100株)に満たない株式をご所有の株主様は、単元未満株式と併せて1単元になる株式を買増請求することができます。お手続きなどの詳細については、当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)へお問い合わせください。なお、単元未満株式の買取請求につきましても、お取扱いいたします。